

# ゆりはま 議会だより

Vol. 71

令和3年11月1日 発行  
発行：鳥取県湯梨浜町議会



決算を審査・認定  
危険な空き家対策  
医療的ケア見受け入れ準備  
7人が一般質問

4

9

10

13

## 園児の避難訓練

9月29日、たじりこども園では津波を想定して避難訓練をしました。地域の協力員と手をつないで無事田後山まで避難できました。

# 経費が増加 全化に向けて努力している～

9月定例会は、10日から27日までの18日間の会期で行われ、令和2年度決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。

令和2年度決算17議案をはじめ、補正予算、条例改正など31議案を審議し、すべて原案どおり認定、可決しました。

また、議員提出議案(意見書)2件も原案どおり可決しました。



## 龍島・新町川ポンプ場工事

龍島ポンプ場の工事に着手し令和3年度完成予定  
新町川ポンプ場は基本設計を実施

9358万円

## 主な事業



## 放課後児童クラブ

羽合第2放課後児童クラブが  
令和2年9月に完成

5508万円



## 中央公民館泊分館

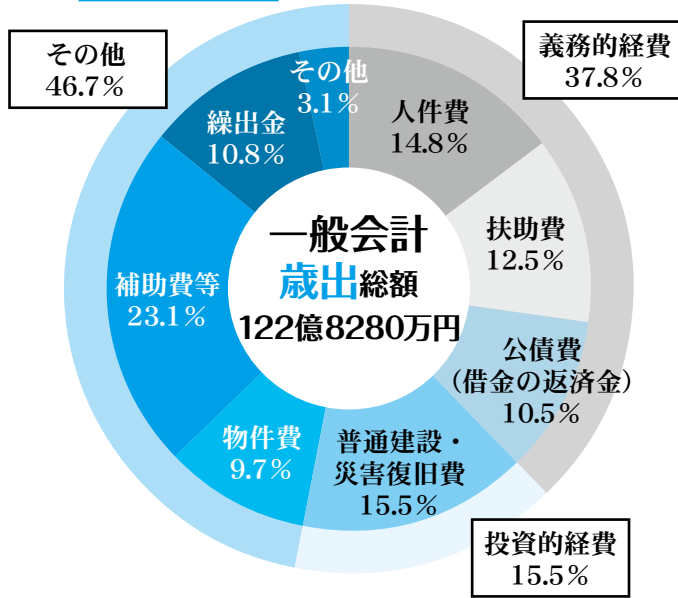
泊分館を解体し、現在改築中  
令和4年度の開館をめざす

2億9815万円

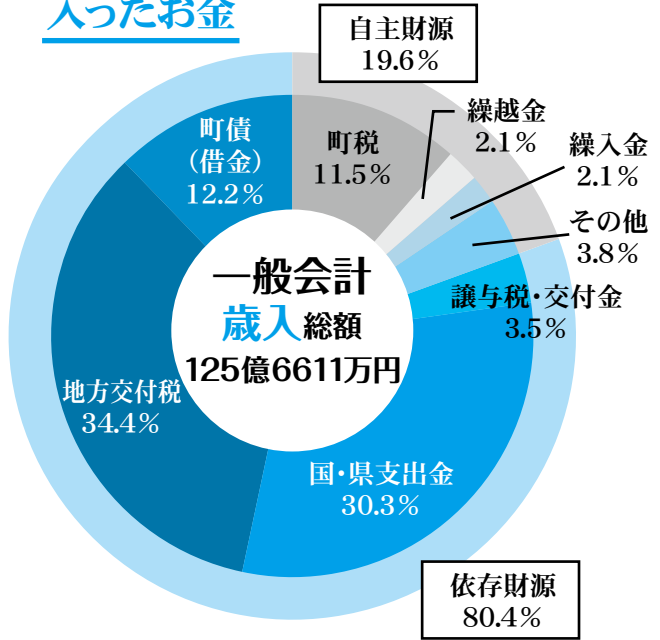
# 令和2年度 決算

# 有効な投資的 ～ 財政運営の健

## 使ったお金



## 入ったお金



## 令和2年度に行った

金額は令和2年度決算額



### 県内初のインクルーシブ遊具を設置

東郷運動公園内の複合遊具を更新  
障がいのあるなしに関わらず遊べるインクルーシブ  
遊具を設置

**2970万円**



### 役場泊支所

耐震補強工事に着手  
令和3年度完成

**4430万円**

# 決算審査特別委員会

令和2年度の各会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く10人で構成する決算審査特別委員会に付託され、審査しました。

## 扶助費

### マイナス原因は

**問** 扶助費が1億7000万円減っているが、原因は。

**答** 対象世帯数や医療費扶助が減ったため、生活保護事業が大きく減少した。

**問** 特例貸付けも11月末までなので、今後コロナの影響が出てくるのではないか。

**答** 生活保護に至るまでの間、自立支援金を支給する。3か月

間は就労活動ができる人が対象。それ以後は生活保護が増える可能性がある。

**問** 就労できず貧困に陥ることは避けなくてはならないと思うが。

**答** 現行制度をさらに充実させる形で町社会福祉協議会と連携して周知をはかる。

## 産前産後サポート事業

### サポート体制の充実は

**問** 産前産後サポートは、産後うつなどを事前に防ぐ意味で重要。サポートする妊産婦の対象範囲の拡大や、サポート体制の充実を具体的にどう考えているのか。

**答** 妊娠届時の声かけや産前産後の教室の案内、サポート事業の紹介など、昨年度に引き続きいろいろな取り組みをしている。

**問** 妊産婦の対象範囲を広げるための具体的な取り組みは。

**答** 相手から来るのを待つだけでなく、こちらから積極的に声をかけていき範囲を広げていく。

**問** 産前産後に悩みを抱える方は多いので、特別な人だけでなく広く声かけをしてほしい。

**答** 今後いろいろな取り組みを練りながら取り組んでいく。

## 地域共生包括的支援体制構築事業

### 生活支援対応へワンストップ

**問** 生活支援の相談窓口を一本化し、多機関と課題に対応する予定だったが、連携が不十分であった。どうしてなのか。

**答** 役場の説明不足、町社会福祉協議会の対応不足のため。

**問** 今年度はすでに半年近く経過している。事業の改善状況、進捗よく状況は。

**答** 新規の1件は関係機関を集め支援会議を2回開催した。継続分については開く予定。

**問** 社協は支援員の確保が大変なようだが、多くの業務を受託していきちゃんと対応できるのか。

**答** 社協は財政的にも厳しく、思ったように動いていない。役場も内容を確認しながら進めていきたい。



子育て世代包括支援センターの案内板



業務委託の社会福祉協議会

# 小さな拠点推進事業

## NPO法人始動へ

**問** 地域活動組織発起人会の現状は。

**答** 買い物難民の対策としての店舗は、採算性を考慮して断念。移動販売を支援する。

NPO法人を作り、地域コミュニティーの活性化をめざし、設立認証の手続きを進めている。

**答** 中央公民館泊分館の調理室を使う予定。

**問** 組織の持続には、行政の支援が必要では。

**答** 具体的な話が出れば、過疎債の適用を含めて支援を検討していく。

移動販売については、運営面でアドバイスをしている。

**問** 最初の事業として「みんなの食堂の運営」とあったが、どこでやるのか。



惣菜が人気の移動スーパー「くるる」



湯梨浜町では電子申請が4種類にとどまる

# 電子申請システム

## ICT化を進める

**問** 鳥取市などの先進的な自治体では、電子申請できる手続きが多い。一方で本町では少ないのはなぜか。

**答** 本町では4件にとどまっている。研修会など各課で勉強しているが、令和2年度はコロナの影響で研修が中止になった。ICT化は進めていきたいと考えている。

**問** 進めていくに際して、具体的な目標は。

**答** 先進的な自治体の事例を把握していることで、各担当課と法的な問題やICTの課題を整理して進めていきたい。

# 町議会議員選挙費

## 開票作業遅れが課題

**問** 選挙費は適正支出とあるが、開票事務遅れの評価はどうか。

**答** 令和2年度は選挙準備行為の決算であり、その点は適正だった。

指摘の選挙は令和3年4月の執行であったが、開票が他町に比べ遅かった。反省課題を総点検し、適正な執行に努めたい。

**問** 秋に国政選挙があるが、問題点解消の準備はできているのか。

**答** コロナ禍での対応であり、事前に開票作業手順などを見直したが、遅れが出しまった。スピードアップ改善

**問** 開票作業中に傍聴者と職員の間はなかったか。

**答** コロナ禍であり、一般傍聴者は入場を控えていただいた。

報道関係者が来ていたので、開票遅れの問い合わせがあり、会場係の対応が放映されたと思う。職員と一般傍聴者との接触は絶対にならない。

# 令和2年度決算審査特別委員会 審査報告(抜粋)

## 決算をすべて認定

決算審査特別委員会に付託された、17会計の決算と2会計の剰余金の処分について、すべて原案のとおり認定及び可決すべきものと決定しました。

決算審査過程でのおもな指摘・意見・改善事項を付記して、委員会報告としました。



委員長の審査報告

### 普通会計の義務的経費である扶助費

令和2年度の生活保護事業が減少したが、令和3年度以降、生活福祉金の特例貸付の期限が切れる。定額給付金などの制度を国への要望を含めて検討してほしい。

また、生活保護受給者の自動車の保有を広く認めるよう、国への要望を続けてほしい。

### 産前産後サポート事業

母親だけでなく、父親やそのほか子育てに関わる方の負担を軽減できるよう、引き続き支援してほしい。

悩まれている方は自ら相談していくので、病院

### 地域共生包括的支援体制構築事業

等と連携を強め、サポート事業についての声かけを積極的に行ってほしい。

令和2年10月からの新規事業で、多機関が協働して課題に対応する予定だったが、関係機関を招集せずに支援会議を開いていた。

委託先の町社会福祉協議会の問題とせずに、早期改善するよう努めてほしい。

また、町社会福祉協議会は令和3年4月から業務を縮小している。体質強化できるよう、十分な予算を付けるなど、町として対応してほしい。

### 小さな拠点事業

買い物難民対策として、民間事業者の移動販売を支援する。

また、地域コミュニティを活性化するため

に、みんなの食堂などを実施するNPO法人を設立し、県の認可を得られるよう準備している。活動を持続可能にするために、過疎債などで支援することを議会とともに検討してほしい。

### 電子申請システム負担金

本町では、電子申請受付可能な手続きが4種類にとどまっている。

町職員が研修会に行き、情報通信技術の向上に努めているが、総務課と申請の窓口となる担当課が具体的な目標を持って進めていくしてほしい。

### 町議会議員選挙実施経費

町議会選挙の当選者確定に時間がかかった。

また、開票従事者や立会人に対して会場の規則を指導する仕組みが十分でないように思う。

秋に行われる予定の国政選挙では、新型コロナウイルス感染症対策や集計方法会場規則の指導を見直して、円滑な選挙事務ができるよう、取り組んでほしい。

### 審査報告書以外の指摘事項

#### 鳥獣被害総合対策事業

町としては、捕獲数を増やすために免許取得費用や更新費用を助成している。

しかし、対策が不十分な畑が集中的に被害を受けている。県が掲げている適正な個体数以上になっているおそれがある。予防策の実施を、補助などで後押しするほか、シビエの推進についても支援してほしい。

### SIBを活用した自治体連携事業

タニタヘルスリンクが監修した食事メニューの提供について、利用実績が増えているが、町民に知られていない。

運動分野の事業である「ゆりはまヘルシーくらぶ」との連携も不足している。

町民の健康状態の向上が事業の中心であることを再認識して、広報活動を行ってほしい。



タニタ監修メニュー

## 補正予算

☆一般会計は、歳入歳出それぞれ4億9628万円を追加し、補正後の予算の総額を110億126万円としました。

コロナ感染対策で  
議会もタブレット使用

・議会臨時管理費

3230万円

新型コロナウイルス感染予防対策として、タブレットを使用したペーパーレス会議システムを導入する。

現状の議場マイクシステムは、複数人で共用しており、席ごとに専用マイクを設置する。

☆国民宿舎事業特別会計

コロナの影響で、水明荘の売り上げ減少が続き、運営支障回避のために企業債、一時借入を追加提案。

問

コロナ禍で売り上げの大幅な減少があり、資金繰り支障を避けるため、前もって資金安定の予算提案なのか。

答

コロナ禍で水明荘の運営が厳しい状況であり、資金繰り安定のための提案である。

問

今後のことを考えれば借入金手法ではなく、地方公営企業法にある出資金導入手法もあったのではないか。

答

このたびの予算では、企業債、一時借入金で資金調達手法を取った。出資金の導入を含め、水明荘と詳細を検討したい。

問

V字回復が見込めない以上、返済額がない方法で安定運営を考えるべきではないか。

答

合理性のある手法を検討したい。当初予算までに議会に相談したい。

## その他

泊地域のさらなる発展をめぐって

・湯梨浜町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画の策定

この計画は、泊地域を対象に過疎対策事業債などの財政上の特別措置を講じながら、持続可能な地域社会の形成及び地域活力のさらなる向上による発展をめぐすもので、令和3年9月に策定された。

問

住宅団地造成事業者への支援に対する懸念事項は。

答

実施する事業者があるのかということ。

問

どのような内容の補助金を想定しているのか。

答

助成する対象者が現れるよう、制度設計から慎重に進めたい。



活性化が期待される泊地域



設置されたスロープ

利用しやすくなった  
泊支所

・工事請負契約の変更について（湯梨浜町役場泊支所耐震補強等建築工事）

役場泊支所の耐震補強等建築工事において、緊急出入口のスロープ部分と多目的トイレ、交通指導員の減員などの変更があり、契約金額を9万6800円増額する。

# 中部地域新電力事業は 持続可能な事業なのか

☆事業参画の可否について、最終判断がなされるなか、本当に中部地域に必要なのか、持続可能な事業なのか多くの議論がなされた。

**問** 事業参画の可否は、どの組織が判断することになるのか。

**答** 町の執行部で判断させていただく。

**問** 現在中部3町で検討中であるが、倉吉市と三朝町の考え方は。

**答** 地域新電力事業に対して、現時点では明確ではない。



町内設置ソーラーパネル

**問** 価格変動や会社の倒産なども想定されるが。

**答** 持続可能な事業になるのか慎重に検討する。

## 企業版ふるさと納税を推進

☆地方創生事業に対しての寄付で、法人関係税を控除する制度。PRに取り組んでいく。

**問** 対象となる事業は何か。

**答** 町民も参加した総合戦略会議で立案された101の事業が対象。

**問** これまでもあった制度だが、なぜ今回取り組むのか。

**答** 昨年度税額控除が6割から9割に増額されたのを受け、取り組むことにした。

**問** これまでの町への寄付と異なる点は何か。

**答** 自治体への寄付は全額損金算入されるが、税額の率は3割。この制度は、さらに6割の税軽減がある。

## ジャンボタニシ対策の拡充開始

☆秋耕うん推進期間の延長と、委託耕うん補助の拡充、薬剤の試験的使用の対策をはかることとした。

**問** 本町の対策連絡会では、薬剤を使用しない方向だったと思うが、連携はできているのか。



ジャンボタニシの被害田

**答** 実行したのは町の農業再生協議会が中心で、連絡会にも周知する。

**問** 試験している薬剤（スクミンベイト）は高額だが、普及できるのか。

**答** 試験使用はするが、東郷湖周辺では生態系の影響も懸念するため、積極的には推奨できない。

**問** 2年、3年蓄積されたときの影響はどうか、慎重に進めるべき。

**答** 漁協は3年間の試験的使用で了解済み。今後、水質検査を行い方針を決めていきたい。



## 危険な空き家をそのままにしているのか

☆指導書などでの改善方針が示された。

**問** 調査について、空き家ではない家まで空き家となっている事例が実際に発生している。調査はきちんとされているのか。

**答** 調査の中には不十分なものがあつたことをお詫びしたい。

**問** 荒れている空き家も多くあり、近隣住民は心配している。そのような空き家を今後どうするのか。

**答** 現在は指導書に基づき指導している。繰り返し指導で改善しなければ勧告へと進んでいく。

危険が迫っているなどの事態においては対応を検討する。



改善が望まれる空き家

## 役場泊支所の耐震補強工事、工事内容を変更

☆湯梨浜町身体障害者福祉協会の要望で、車いすの利用がしやすいよう新設のスロープを既存のスロープと接続。接続部分に手すりを設置。

また、多目的トイレの衛生器具の配置を変更。クレーンの配置を調整し、交通指導員の減員を可能とした。

**問** 障害者福祉協会との連携が不十分だったのでは。

**答** 設計者には声を拾うよう指示していたが、連携が悪かったと反省している。



新設のスロープ

## 同じところの被災 ゆゆしき事態

☆7月7日からの豪雨により、方面1号捨石たい積場の洗堀があつた。

**問** 以前、修繕をしたところが洗い流された。水処理に問題はなかつたか。

**答** 同じところが被災したことは、ゆゆしき事態。詳細に調査していただく。

**問** 無防備の状態で作業をしているが、放射能などの面で影響はなかつたか。

**答** 被災による影響はなかつたと聞いている。状況は方面地区の住民の皆さんにも説明がなされている。区民用に説明チラシが作成・配布されている。



のり面の洗堀状況 (方面)

**問** 工期はいつまでか。

**答** 新設する緊急入りのスロープは緩やかなため、既存のスロープと接続することにより、玄関への出入りを可能とした。

**問** 10月29日に変更した。

# 医療的ケア児受け入れへ

☆来年度、羽合小学校に入学を希望している医療的ケア児の受け入れのため教室を改造し、水道設備、間仕切りカーテンなどを整備する。

**問** 教職員や看護師の確保はできそうか。

**答** 中部教育局に専門的なケアができる教職員、看護師の配置を相談している。

**問** 医療的ケア児を町小学校に受け入れられないことがあるのか。

**答** 受け入れる方針。看護師の確保ができるまで、保護者にお手伝いをお願いするな



改修予定の教室（羽合小学校）

ど、相談して進めていきたい。

**問** 全体の教室確保が課題ではないか。

**答** 特別支援学級の増加などもあり、教室の不足も現実味を帯びている。課題の一つとして取り上げていきたい。

**問** 各事業の利用状況が全体的に落ちているのは、コロナの影響か。

**答** 一人当たり介護サービス費が減少したのは、コロナの影響で利用者の自粛、事業所も事業を一部中止したため。

**問** 令和3年度は要介護認定者数が増えているが、今後の運営状況は。

**答** 6月時点で、約4000万円近く給付費が増えている。財政的には、予算より大幅な増が見込まれ、補正も考えている。

**問** フレイル予防などの対策はどうか。

**答** 基本チェックリストから、介護予防リストを作成し、131人を対象に筋ト

レ・ミニデイサービス・脳活トレーニングなどへの参加を呼びかけている。

## 通学路の除雪を委託

☆中学校から燕趙園・下浅津・東田後の3ルートを除雪を、シルバー人材センターに委託する。

**問** 基本的にPTAの協力のもと、除雪していると聞く。どのルートが今回の委託対象か。

**答** 民家がない区間が委託対象。昨年の大雪の際は、教育委員会の職員が除雪した。



歩道の除雪作業（佐美）

**問** 除雪を委託する際の、積雪量の基準はあるのか。

**答** 詳細はまだ決めていない。

## がん、脳梗塞などの疾患が多い

☆令和2年度国民健康保険の決算額は、歳入18億4003万円、歳出18億3745万円、差引額258万円は繰越金。  
被保険者は年々減少しているが、療養給付費は増額傾向にあり、一人当たりの医療費も増加傾向にある。

**問**

県の資料には、医療費は特定健診を受けない人が、受けた人より高いとあるが、

**問**

町も特定健診を受けた人と受けなない人の医療費の差が示せないか。

**答**

資料がないので分らないが、そのようになると思う。

**答**

来年度以降、検討してみたい。



町民の健康を担う検診車

## 風土記館修理



修理する風土記館

☆台風9号により、屋根、外壁が破損した。

**問**

修理する際に、展示内容を精査しては。

**答**

一部内容については、所有者の了承を得た上で撤去し、そのほかの展示内容についても検討している。

## 門柱への対応経過は

☆車両事故で役場西口の門柱が倒された。

**問**

門柱は106年前に建てられた旧長瀬小学校の門柱。歴史的・文化的な価値を評価し、保存することはできないか。

**答**

別の場所に保存する方向で検討している。

## 新型コロナウイルス 集団接種が終了

☆国全体として、若年層の接種率向上が課題であるとの懸念が示されているが、本町では接種率も順調に増えてきている。  
集団接種は、1回目接種が9月30日まで、2回目接種が10月21日までとしている。

**問**

集団接種の期間に、接種を受けられない人への対応は。

**答**

医療機関での接種を周知していきたい。



ワクチン集団接種会場

# 本会議での採決結果

9月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	松岡	米田	光井	寺地	河田	磯江	小川	中森	入江	増井	信原	結果
議案第112号 湯梨浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	賛成9人 可決

※議案の採決は、濱中議長を除く11人で行います。

※上記以外の議案は全会一致で可決及び認定しました。

## 陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 金田 涼	<b>採 択</b> 全会一致 (国に意見書を提出)
旧北浜中学校跡地利用に関する陳情書	羽合地域グラウンド・ゴルフ協会 会長 永野 忠行	<b>不採択</b> グラウンド・ゴルフ専用コース建設を旧北浜中学校跡地に限定するのはむずかしい。今後グラウンド・ゴルフの推進を考えると羽合地域に施設整備は必要。
老朽化している公民館、集会所等の修繕工事の助成金制度の制定について	はわい温泉区 区長 魚住 信二	<b>不採択</b> 受益者として区で建設費を積立て、区民に理解を得て維持すべきである。しかし、自治公民館等が災害拠点になること等を考慮すれば、町に助成制度制定の検討を望む。
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従 全国青年司法書士協議会 会長 阿部 健太郎	<b>継続審査</b>
成年後見制度利用支援事業に係る給付要件の緩和と予算の増額について	一般社団法人 鳥取県社会福祉士会 会長 朝倉 香織	<b>継続審査</b>

# 町政を問う

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
小川 遊	放課後児童クラブの現状と今後は	13
松岡 昭博	学力の向上対策は	14
	食育の推進方策は	
光井 哲治	鳥銀支店移転によるサービス低下を危惧	15
	固定資産税猶予の再延長措置は	
米田 強美	成年後見制度の充実を	16
	脱炭素社会をめざす「先行地域」の取り組みは	
信原 和裕	成年後見制度利用支援事業の充実を	17
	より一層の防災・減災の取り組みを	
中森圭二郎	「生活保護のしおり」の記載変更を	18
	ホームページで事業概要書の公開を	
増井 久美	コロナから子どもたちを守る対策を	19
	米農家を守る対策を	

## 放課後児童クラブの 現状と今後は

町長

いろいろと検討課題がある



おがわ ゆう  
小川 遊

【問】①本町内の5つの放課後児童クラブについて、定員・登録者数・平均利用率を問う。

②全国的にも共働き世帯の増加とともに放課後児童クラブの利用人数は増加傾向。

放課後児童クラブの必要性が高まる一方で、施設の不足や職員の確保など、クラブが抱える課題は少なくない。  
放課後児童クラブ運営について、今後の方針を問う。



新築移転から1年が経つ  
羽合第2放課後児童クラブ

【町長】①放課後児童クラブの定員は、羽合第1が40人、羽合第2が80人、東郷第1が40人、東郷第2が40人、泊が40人。合計240人の定員に425人の登録があるが、平均利用率が58.8%で、利用希望児童の受け入れはできている。  
②平日でも羽合第1と東郷第1、夏休み時には羽合第2も定員を超え、支援員不足が常態化している。それらも含め、民間業者委託の話もあるが、利用料が高くなり、学習中心の在り方など、いろいろ検討課題がある。

# 学力の向上対策は

教育長

## 学習意欲の向上に取り組む



まつおか あきひろ  
松岡 昭博



英語学習の様子  
(泊小学校)

【問】小・中学校では、標準偏差が10・0を超え二極化にある教科もあり、基礎学力の更なる定着と向上が課題となっている。

①問題となる教科にはどのような教科があり、その原因をどのように考えているのか。

②家庭学習は十分に定着していない。今後どのようにして定着させるのか。

③英語教育について、学年が上がるにつれて学習意欲の低下などが見られるが、その原因と今後の改善策はどのようなものか。

【教育長】①小学校では社会と理科、中学校では理科と英語である。社会と理科の原因として、興味・関心の差が大ききことがある。英語は、積み上げが重要であることが原因。

②「家庭学習の手引き」が十分に活用されていない。保護者の方に、家庭学習の大切さについて、子どもたちに声かけをしていただく。

③小学校6年生から中学校3年生にかけて、英語が好きな割合が10%以上低下している。県の教育委員会と連携していく。

# 食育の推進方策は

教育長

## 組織的・計画的な推進をはかる

【問】食育を国民運動として取り組むため、平成17年に「食育基本法」が制定された。

①食育の必要性をどのように考え、教育関係者、保護者そして生徒にどのように対応してきたのか。

②小・中学校における食育体制、栄養教諭の設置状況、活動状況はどのようなものか。

③学校給食の令和2年度地産地消率は78%で、目標は同7年度85%となっている。どのようにして達成するのか。

【教育長】①人に生きる喜びや楽しみを与え、健康で心豊かな暮らしの実現に大きく寄与するものだと考えている。食に関する指導全体計画を立て、計画に基づいて児童・生徒の指導にあたっている。

②給食主任教諭や栄養教

諭、学校栄養主任を中心に組織的・計画的な推進を行っている。県内には、20名の栄養教諭が配置されている。

③県産品収穫期を見越した食料予約や冷凍食品の県産使用、情報収集により、適期の県産品使用をしていく。



町立学校給食センター  
(湯梨浜中学校敷地内)

# 鳥銀支店移転によるサービス低下を危惧



みつ いてつはる  
光井 哲治

町長

## 構築されてきた関係性が失われる恐れ



移転が決定した鳥取銀行羽合支店

**【問】**①鳥取銀行羽合支店移転の話は、行政と事前協議はあったのか。  
②湯梨浜町への影響をどう捉えているのか。  
③地域サービスにとって金融機関は、なくてはならない存在ではないか。  
④地方創生を進めている中、撤退はさまざまな影響が出るのではないかと。令和3年11月22日、倉吉中央支店内へ移転となるが、不便さを感じ、全体のサービス低下を危惧する。地方創生の中、金融機関の役割は非常に大きい。町長の所見を問う。

**【町長】**①プレス発表の2日前に銀行から訪問があり、事前協議というより通告に近い形だった。  
②町内の個人、法人にとって店舗がなくなることは、利便性の低下だけでなく、利用者との間で構築されてきた関係性が失われる恐れがある。  
③金融機関は資金支援だけでなく、創業や新事業進出など、地元事業者に密着した取り組みを進めている。地域サービスの重要な担い手である。  
④本町の地方創生への実現のための役割を、引き続き担っていたきたい。

# 固定資産税猶予の再延長措置は

町長

## 町の猶予制度の適用を

**【問】**①コロナ対策で固定資産税徴収猶予申請制度により、適用申請されたのは何社あったのか。  
②徴収猶予延長の措置はなかったのか。  
③国の施策以外に町としての施策は考えなかったのか。  
納期限猶予も終わり納税が始まったが、米子、鳥取で時短要請もあり全体に悪影響が出ており、飲食、宿泊業の資金繰りは非常に厳しい状態にある。

このような現状で、再延長措置など、町の施策はとれなかったのか。町長の所見を問う。



徴収を担当する町民課賦課徴収係

**【町長】**①4事業者で県外事業者2社、町内事業者2社である。  
②国の特別猶予措置は令和2年度のみだが、町の猶予制度を適用すればさらに一年の延長は可能である。  
③国の方針としては「税の減免」ではなく「給付」によって支援していく考え方である。町では、事業継続に困難をかかえる事業者向けの支援制度を整備し心援していく。こういう大変な状況の中、適用者には時期に応じた配慮をしていきたい。

# 成年後見制度の充実を

町長

## 町社協と協議していく



よね だ つよ み  
米田 強美

【問】成年後見制度は、

認知症や知的・精神障害のある方を支える重要な手段である。

①本町における成年後見制度の利用状況と、問題点、課題点を問う。

②法人後見に社会福祉協議会の参画が期待されるが、見通しはどうか。

また、市民後見の育成は、どのように取り組んでいるか。

③家庭裁判所への申立て費用や、報酬の負担が困難な人への対応を問う。



法人後見の参画が期待される社会福祉協議会

【町長】①制度の利用状況は、過去5年間で高齢者相談33人、町長申立て3件。今後、制度利用の増加が見込まれるので、

制度や申立て支援などの普及・促進をはかっていきたい。

②法人後見については、町社会福祉協議会と協議していく。市民後見については、単独での支援は認められていないため、

必要性について町社協の協力を得たあとに検討したい。

③成年後見制度利用支援事業で、審判請求費用、後見人報酬助成などを行っている。

# 脱炭素社会をめざす

## 「先行地域」の取り組みは

町長

### 先行モデルにはなり得ない

【問】①政府は2030

年度までに温室効果ガス的大幅削減をめざす「先行地域」をもうけるとした。

また、「ゼロカーボンステイ宣言」が全国的に広がっている。町長はどう考えるか。

②国土交通省は、住宅の改修工事で断熱材などを活用する場合、自治体を通じて補助している。

また、蓄電池の設置にも、国と地方自治体での補助がある。本町における補助制度について所見を問う。

【町長】①本町には、特化した発電の素材がないことから、先行モデルにはなり得ないと考えている。

ゼロカーボンステイ宣言は前向きに考えているが、現在どのような取り組みができるか調査中であり、もう少し後に宣言したい。

②住宅の省エネ改修については、本町は住宅需要も旺盛なので検討したい。住宅用蓄電池補助事業の創設は、中部新電力事業の検討結果によるが、直ちに検討をすることは考えられない。



安定した電力供給が可能な温泉熱発電 (龍島)



# 成年後見制度利用支援事業の充実を



のぶはら 信原 かずひろ 和裕

町長

## 対象者把握の仕組みづくりを検討



成年後見制度パンフレット

【問】この制度は、自力で物事を判断し、対応できない独居・高齢・貧困の方々を支える制度で、年間1、2名の適用で終わっている。

対象者把握が困難とのことだが、一方で民生委員には、毎年、該当者の報告を求めている。

これでは町民に責任を持った行政とは言えない。きちんと調査をし、実態に合った適用人数の拡大と予算組みをするべきではないか。

【町長】今後、独居で認知症を把握する手段としては、介護認定調査及び障害支援区分調査の段階で、在宅であるとか独居で施設入所など、家族構成の調査様式を盛り込むことも検討したい。

いずれにしても、役場の横の連携で追っていくば対象者を把握できると思う。

そうすれば、その方に後見制度の情報をお知らせと提供できると思うので、仕組みづくりを検討したい。

# より一層の防災・減災の

# 取り組みを

町長

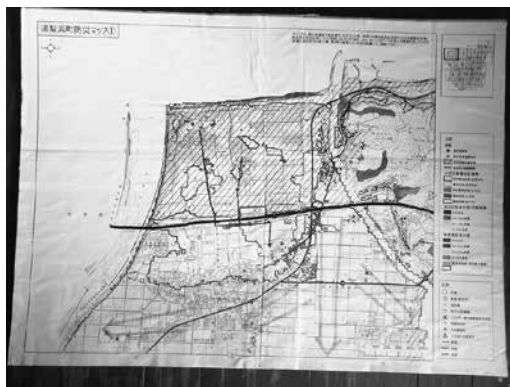
## 公民館に出向くことを検討

【問】本町では7月7日の七夕豪雨で百数十件の崖崩れ、道路の崩落などがあつた。

今後、秋の長雨、台風、豪雪、さらには佐渡島北方沖地震での6・6メートルの津波も予想される。

①今秋、改訂・配布予定の「防災マップ」はどのような方針・内容で改訂するのか。

②各区の自主防災組織の取組状況は。また、町としての取り組みはどうなのか。



町防災マップ津波想定図

【町長】①「防災マップ」は、避難区分の改訂と、降水浸水想定区域図を天神川と東郷池について千年確率で表記し、最大級の災害を周知する。津波の避難については、検討段階にまだ入っていない。

②新型コロナウイルスの影響で、防災訓練・講習会が中止や延期となっている。公民館に出向いて講習会を行うことを検討している。また、町の防災訓練は、要援護者の避難や避難所の設営を、職員と防災士で行う予定である。

# 「生活保護のしおり」の記載変更を



なかもり けいじろう  
中森 圭二郎

町長

## 別表のチラシを作成して対応

【問】「生活保護のしおり」は、生活保護申請を検討する方にとって生活保護の概要を知る貴重な資料である。しかし、近年の生活保護に関する運用の変更を表しているとは言えない。

そこで、①自動車の保有が原則認められていないが、個別の事情によっては保有を認められる旨を「しおり」に追加してはどうか。

②DVや虐待などの特別な事情がある場合、扶養照会をしない場合もあるので、事前相談を促す旨の記載を追加してはどうか。



生活保護のしおり

【町長】①「生活保護法」による保護の実施要領」の中で、一定条件のもとに車保有が認められる場合があるが、面接相談でそれぞれのケースでの個別対応であり、例外要領の「しおり」への記載はむずかしい。対応として口頭ではなく、別表を作成して相談に応じたい。

②DVや虐待などの特別なケースでの扶養照会をしない場合の「しおり」への記載であるが、この場合も別表作成して、面接相談に対応したい。

# ホームページで

## 事業概要書の公開を

町長  
今後公開する

【問】透明性の高い町政を実現するために、議会を審議される議案や事業概要書に町民がアクセスできる環境が必要だと考える。

①現在、湯梨浜町の議案・事業概要書はどのように情報公開されているのか。

②湯梨浜町ホームページでは、一般会計補正予算など一部議案のみ公開されている。そのほかの議案・事業概要書についても、ホームページ上で閲覧できる仕組みを作っているか。

所在地 / トップページ > 議案・議決 > 議案 > 令和3年度 一般会計補正予算

令和3年度 一般会計補正予算
5号補正予算 (令和3年9月定例会)
4号補正予算 (令和3年7月臨時議会)
2号補正予算及び3号補正予算 (令和3年6月定例会)
1号補正予算 (令和3年3月臨時議会)

ホームページ上で公開される  
補正予算

【町長】①町ホームページでは、一般会計当初予算書、各特別会計当初予算書を公開している。事業概要書、補正予算書などは出していない。

②町報では、町民に知っていたいただきたい情報をタイムリーに掲載し、情報公開に努めているが、

ホームページでの公開は十分とは言えない。今後は、補正予算書、事業概要書も公開する。そのほかの議案については、他自治体の事例を参考に分かりやすく公開していきたい。

# コロナから子どもたちを守る 対策を

教育長

## 一段と緊張感を高め感染防止 に取り組む



増井 久美

【問】子どもにも新型コロナウイルス・デルタ株の感染が拡大している。若い人の接種が進んでいないという状況もある。

①若い人へどうワクチン接種を進めるか。

仕事場の環境、接種時間の延長、曜日変更など対応することはできないか。

②小・中学校や学童保育の対策、こども園での対策はどつなっているか。

③いつでも受けられるPCR検査の体制を作るべきではないか。



こども園に自動検温器を配置

【町長】①医療機関・集団接種により、基本的にどの曜日でも接種できる体制を取っている。また、接種日程の追加や午後6時までの時間延長なども対応している。

②本年8月に改定された、鳥取県版感染拡大予防ガイドラインに沿って運営している。

③鳥取方式ではクラスターが出たら、機動的にPCR検査で感染者を囲い込む。そのほうが効果的。

【教育長】②各小・中学校に、一段と緊張感を高め、児童・生徒及び教職員の感染防止に取り組むよう求めた。

# 米農家を守る対策を

町長

## 効率的、安定的な農業経営体の 育成をはかる

【問】コロナ禍の長期化により、米の需給環境はさらに悪化しており、今年度の生産者米価は一俵9000円台といわれている。

米づくりに必要な経費は、一俵(60キロ)あたり1万5155円かかる。これでは、離農する米農家が増えるのではないか。

町として、米農家を応援し、できる限り力を貸す対応をとるべきではないか。

【町長】米の生産は、全国的に在庫過剰で価格の下落に直面し、令和2年度産米は前年比96%。米価の安定に向けた政策として、生産調整が求められ、本町も農業再生協議会などで、大豆、イチゴ、メロンなど水田転作に対する交付金を周知し、作付け転換を呼びか

けている。

また、稲作単一経営の損益分岐点は2ヘクタール以上とある。効率的、安定的な農業経営体の育成をはかるため、引き続き担い手農家、集落営農組織化の規模拡大や新規就農者の育成など、必要な支援を行っていく。



米農家を守る対策を

# 町民インタビュー

## 「豊かな生活を求めて湯梨浜町へ」

酒井 千里 さん（泊）



2011年3月11日、東京で震災を経験し都会のもろさを実感しました。消費活動に組み込まれた生活では何も残らない、いざというときに最低限自分で生きる力が必要。人間らしい豊かな生活がしたい。そう思い始めていたころ、何気に開いた湯梨浜町の空家バンクのページで築96年の古民家を見つけました。

裏には畑もあり一目で気に入り購入を即決、そして湯梨浜町泊へ移住することを決めました。畑仕事はしたことがなかったのですが、ご近所の方などにいろいろと教えていただきながら楽しんで挑戦しています。あんなに憂鬱だった雨も今では恵みの雨大歓迎です。

自宅でエステサロン、着付け教室、相方がネイルサロンをしているのでお客様からの急なご要望に応えることができたり、ゆったりと生活もできていて本当に恵まれた環境だと思っています。

昨年9月からは玄関をカフェスペースにして月曜日だけのカフェをはじめました。毎週月曜日、隣の家の軒下に店開きする八百屋さんにご近所のお年寄りの方たちが出

てこられるのをみて井戸端会議の場所があればいいかとも思い始めました。月曜日だけのカフェ『月よう日』。思いがけず、周辺地域からのお客様にも恵まれ、たくさんの方と繋がることができて充実した毎日を過ごすことができています。

一緒に移住した3頭の犬たちも裏庭で遊んだり、自然や人と触れ合うことができ伸び伸びと生活できてよかったです。

こんなときだからこそ、田舎暮らしの良さや魅力を実感し、自分のペースで生活できる湯梨浜町泊での今の生活に満足しています。



## 「住民と議会の意見交換会」は中止します

令和3年度の「意見交換会」は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、中止とさせていただきます。議会や行政に対するご意見・ご提案がございましたら、議会事務局へメール、FAXまたは郵送などでお送りください。お寄せいただいたご意見・ご提案は担当委員会で協議し、議会だよりなどで回答させていただきます。

## 編集後記

「現代社会の観察者」として、病院や学校などの組織を撮影したドキュメンタリー映画監督のフレデリック・ワイズマン。新作映画は『ポストン市庁舎』で、多様な人種や文化が集まる大都市を支える「市民のための市役所」が舞台です。町内でも上映を予定しているそうです。

議員になり、行政サービスの重要性を実感します。町民や次世代の子どもたちの利益に資する事業か、行政職員が活躍できる労働環境かどうか。湯梨浜町の今を『議会だより』を通じて伝えていきたいと思っています。

（記 中森）

## 【編集】

議会広報常任委員会